

WUOC2012 報告書

横浜市立大学 3年 大河内恵美

はじめに

私がユニバーの存在を知ったのは昨年(2011)の11月、学連(技術)合宿の時でした。当時は海外でのオリエンにあまり興味がなく、まさかその時に誘ってくれたメンバーと一緒に参加するとは思っていなかったもので、こうして振り返ってみるとなんだか感慨深いです。

ユニバー参加を決意したのは、世界に挑戦したいというようなものではなく、単純に“オリエンがうまくなりたい”という気持ちからでした。なので、日本で行われる合宿での指導や、向上意欲・レベルの高い人たちと練習ができるということも非常に楽しみにしていました。また、海外でのオリエンテーリングは初めてであったので、結果を残したいというよりは、初海外オリエン楽しみたい！という気持ちが大きかったように思います。

選考会前後

2年のインカレミドルで結果が出せず、しばらくぼんやりとしていた時に、ユニバーの選考会の話を知りました。この時点では海外でオリエンをしたいという気持ちはまだあまりなく、受けようか迷っていましたが、とりあえずやってみようということで参加しました。この2日間の選考会でさまざまな人たちからユニバーについて詳しいお話を聞くことができ、自分も出場したいという気持ちが強くなりました。選んでいただいた後もいろいろと悩みましたが、励ましたり支えてくださった人たちのおかげで出場できることになりました。

強化合宿・トレーニング

選考会で怪我したところがなかなか治らず、治ったと思ったら次は風邪を長引かせてしまい、約1ヶ月ほとんどラントレしないまま1回目の合宿を迎えました。とにかくキツく、直進も全然当たらずへこみました。

その後出国までに2回合宿に参加しましたが、どちらもあまりうまくできず、周りの速さにただただ圧倒され、このままで大丈夫かな…と不安になったりもしました。

トレーニングに関しても、ゼミで忙しくなったのもあり、5月、6月は各40km程度しか走れていない状態。今思えば、ほとんど走れなかったことによる体力不足が、大きな不安要素になっていたかもしれません。

ですが、合宿で刺激を受け学べたことも多く、出国直前のロングセレではわりとうまくオリエンができ、良いイメージのままスペインに向かうことができました。

現地入り

―スペインでの生活―

私たちより先に出国していた先発組のおかげで、快適に過ごせました。気温は高かったのですが、午前と午後に分けてトレーニングをし、合間にプールでアイシングしたり涼しい部屋でお昼寝したりしていたので、思っていたよりは暑さにも対応できました。

宿泊所は二人一部屋の綺麗なところでスーパーも近く、水も大丈夫でしたしご飯も美味しかったです。

また、メンバーとお散歩したり買い物にでかけたり部屋でいろんな話をしたりできたので、わりとリラックスした状態でいられました。

―トレーニングキャンプ―

日本とは全然違うトレインにびっくりしました。土が乾燥していて石や岩がごろごろ、植え込みをうんと大きくしたような藪があちこちにあり、低いところからでは見通しが全くききませんでした。ですが、平らで走りやすいところも多く、特にパブリックレースで入らせてもらったトレインは見通しや景色も良く、がんがん走れて楽しかったです。

モデルイベントのトレインは岩場が多く足元に気をつけなければならない部分もあり、切り替えが難しいなと思いましたが、ここでも普段体験できないトレインを走れて面白かったです。

本戦

今回日本代表の女子は4人なので、どのコースも走れるということで現地に入るまで迷ったのですが、体力に不安があったのでロングは走らず、スプリント・ミドル・リレーに出場させていただきました。

【スプリント】

結果から言うと、完走者の中で断トツの最下位でした。街中でのオリエンは初めてだったのでわくわくしていたのですが、どうやらそれ以上に緊張していたようです。海外での初レースということで完全に舞い上がってしまいました。スプリントは走力の問題もありますが、周りの速さに惑わされず、きちんと自分で地図を読んで走れば良かったと思います。

【ミドル】

一番凄まじいレースをしてしまいました。3ポで40分彷徨ったうえ、人生初のマップアウトも体験しました。ちゃんと特徴物はあったのにそれらを読み取れず、ただひたすら走ってしまい完全に現ロス。日本にはない藪の形にも注意して、もっと落ち着いて進むべきでした。その後は落ち着いて回ってこれでなんとか完走はできたのですが、ゴール直後はあまりのショックにしばらく何も考えられませんでした。世界のレベル以前に、いつものオリエンができない自分に呆然としました。

【リレー】

3走を任せてもらいました。スプリント、ミドルと酷いレースをしてしまっていたので、前日は正直不安で一杯でした。出国前結果は気にしないつもりでいましたが、いざ走ってみるとここまで自分はダメだったのか、と一人落ち込んだりもしました。メンバーの人たちに相当気を遣わせてしまっていたかと思います。すみませんでした。でも、さりげない励ましの言葉に勇気づけられ、とにかく歩いてでもいいから落ち着いて回って来よう、とスタートへ向かいました。星野さんからもらった「楽しんでおいでね」の一言が、レースの間ずっと支えになりました。

とにかく落ち着け、を合言葉に走り出したら、きちんと地図も読め思った以上にうまくいけてどんどん調子が出てきました。日本にいても海外にいても、やはりいつも通りの動作、基本が大事なのだと思います。しかしちょうど半分くらいの10ポで気が緩み大きくツボってしまい、ビジュアルの時点でへろへろ、時間をだいぶかけながらもなんとか完走できたという状態でした。ゴール直後は、10ポのミスを悔しく思う気持ちと一緒に走ってくださった新井さんと星野さんに申し訳なく思う気持ち、でもそれだけではなく、オリエンテーリングって楽しい！！という気持ちがすごく強くて、いろんな思いがごちゃごちゃになっていました。笑顔で迎えてくれたメンバー、レース中にも励ましてくださった吉田さんには本当に感謝しています。ありがとうございました。

まとめと今後ユニバーに挑戦する方々へ

海外の選手との違いやテレインの特徴、今後の対策などは多分ほかのメンバーがより詳しくわかりやすく説明してくれると思うので、ここではユニバーで私なりに感じたことや思ったことを書いていこうと思います。

賛否両論、それは違うという人もいるかもしれませんが、私にとってこのユニバーでのキーワードは「楽しむ」というものだったと思います。もちろん、日本代表という看板を背負っているのでわけですし、レースを疎かにするという意味ではありません。楽しむためにどれくらい努力したか、ということだと思います。楽しむといってもそれは人それぞれで、例えば結果を残すことが楽しいという人もいれば、海外の選手とわいわい交流できることが楽しいという人もいます。私の場合、気持ちよく走るためにもっと日本で体力トレーニングをしたり、落ち着けるようにメンタル面での調整ができればよかったなと少し後悔しています。ですが、本戦だけでなく、海外のテレインやアリカンテという街、海外の選手との交流や日本代表勢でのやりとりを楽しめ、ユニバーを満喫できました。ユニバーに参加することになった人は、なぜ自分は参加したいのか、ということを考えてみるといいかもしれません。

あと、ユニバーに出ようか迷っている人たちへ。まずは、選考会に出てみるといいと思います。選考会に参加するだけでも刺激になります。不安もいろいろあるかもしれませんが、出なかったことを後悔するより、とりあえずまずは一步踏み出すのが大事だと思います。

おわりに

本当にたくさんの人たちのサポートのおかげで参加できた今回のユニバー、得たものも多くとても良い経験ができました。全ての種目が終わったとき、「ああ、私はオリエンテーリングが好きなんだな」と改めて感じ、もっともっと速くなりたい、これからも楽しんでいけるように頑張りたいと思いました。この経験を、自分のこれからと、オリエン頑張りたいという後輩たちのために活かしていけたらと思います。

最後になりましたが、様々な手配をしてくださった西脇さん、現地まで同行し支えとなってくださった吉田さん、小山さん、合宿を運営してくださった方々、快く送り出してくださった KOLC・丘の上のみなさん、悩む私の背中を押してくださった先輩や同期、そして、一緒にユニバーに参加しこの遠征をととても楽しいものにしてくれたメンバーの人達…

応援・支援してくださったたくさんの人たちに本当に感謝しています。

ありがとうございました！！